

おおとり会だより

平成23年4月20日発行

静岡女子短期大学

静岡女子大学

同窓会 おおとり会

ツキを呼ぶ魔法の言葉

おおとり会 会長

大石邦枝



おおとり会会員の皆様お健やかに過ごしていらつしやいますか。

昨年の夏はいつまでも続く猛暑、そして冬は例年になく大雪、そして鳥インフルエンザ、新燃岳の噴火など予想をはるかに超えた災害が多く被害をもたらしています。

でも、自然はありがたいもの。ちよつと寒さが和らぐと、春の息吹が感じられます。自然をもつと大切にしなければと思いません。それには人々がちよつとずつ我慢をすることも大切ではないでしょうか。

おおとり会では、総会の開催、会報の発行、県立大学文化祭(剣祭)へのバザーでの参加と大きな三つの行事を行っています。その一つのバザーが今年度は台風のため中止となりました。直前の中止は当番幹事の方々にとって心残りでした。直前の中止は当番幹事の方々にとって心残りでした。

二十三年度の剣祭は十月二十九・三十日に行われ、おおとり会の出店は三十日(日)です。皆様是非遊びに来てください。出品も大歓迎です。

今年、六月十二日に行われるおおとり会総

会は、昨年国宝に指定された久能山東照宮の宮司落合偉洲氏に講演をお願いしました。恩師の先生方も楽しみに出席してください。卒業生の皆さんも誘い合つて是非多数参加してください。願っています。

おおとり会だよりも「はばたき寄金」として紹介していますが、「おおとり会賞」が積極的に活動している県大の学生の団体に四月の開学記念行事において授与されています。ささやかな賞ですが毎年の恒例となっております。学生達の活動の励みになっていくようにです。

一昨年のこの欄で天国言葉・地獄言葉について書きましたが心に留めてくださったでしょうか。今回は「ツキを呼ぶ魔法の言葉」(五日市剛氏)を紹介したいと思います。講演会などでお聞きになった方も多いかと思います。「ツイてる」っていいことがいっぱい起る事ですが、ツキを呼び込む言葉は「ありがたい」と「感謝します」の二つ。嫌なことがあったときも「ありがたい」、なかなか言えない言葉です。五日市氏によると、自動車事故を起こした時、自然に「ありがたい」という言葉が出て、二度ともいい人間関係がずっと続いた。また「感謝します」は常日頃言ったり感じたりしたい言葉ですが、未来のことでもイメージしながら、何の疑いも不安も心配もなく、自然とそう思い込めれば本当にそうなります。「一週間後、〇〇〇に合格させて頂き、感謝します」と。二つともなかなか難しいことですが、努力する価値はあるかなと思います。

昭和二十八年に発足した当会は来年六十周年という記念の年になります。これを機におおとり会だよりもカラー印刷の読みやすい親しみやすいものにしたいと思っています。皆様からの基金への協力をよろしくお願ひします。

はばたき寄金

平成二十二年度『おおとり会賞』は、左記の団体が選出され、平成二十二年四月二十三日に行われた開学記念行事において、木苗学長から表彰されました。

「静岡学生NGOあおい」

○活動趣旨

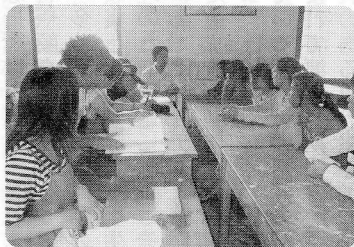
アジアの新興国、特にカンボジアで買春の被害にあっている子供達が多く存在する現実を知ってもらい、買春の撲滅と子供達の権利と未来を守る為の啓蒙活動を通して国際協力に寄与する。

○活動内容

- 1 児童買春問題啓発雑誌『かぼちゃ』発行、全千五百部完売
- 2 国際協力を目指したイベントの開催

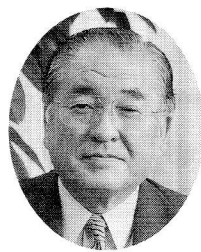


がんばっています。



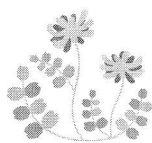
恩師の近況

ブーメラシ人生



元 国立大学 学長

廣部 雅昭



かつてオーストラリア先住民の間で使われた狩猟具にブーメランという「く」の字型の平らな木の棒があります。今では玩具として巧みな技術が競われていますが、これはキジやハトなど小動物に向かつて投げ、命中して撃ち落とすことが出来なければ手元に戻って来ず、飛行機の翼に似た断面を有し、最初獲物に向かつて直進し、やがて向きを変えて上昇したのち下降し、きりもみ状態で投げ手の付近に落下します。この飛行動作の裏には、未だ解明されていない部分をも含む非常に高度な物理的理論が存在します。古代の人々が経験的にこのような技術を編み出したことは驚嘆に値し、民族学の上でも注目されています。

私は以前から大変興味がありました。なかなか上手に操作ができません。しかし、私はブーメランの動きの中に様々な人生の機微を感じることがあります。

以下にその一例を述べたいと思います。
私にも先日、ついに「赤紙」（後期高齢者証）が届けられ、残された人生をどのように送るべきか考えざるを得なくなりました。私は県立大学退官後、県の学術教育政策顧問として、県が強力で推進する「人づくり」政策に関わらせて頂きました。それまで40年余に及ぶ大学における様々な研究・教育環境の中で、「人材育成」人づくり」に関わってきましたが、個人の性格、能力は、ほぼ出来上がったものとして個性をのばすことに努め、適材適所の標的もかなり明確に把握できたように思います。しかし県の「人づくり」政策は、若年教育に主眼がおかれ、その推進過程では、人間形成の原点に近い部分での

「しつけ」など、学校、家庭、社会の連携の重要性を痛感するとともに、過去における自らの体験と比較し反省せざるを得ませんでした。

時期をほぼ同じくして、私は県の公安委員会委員に任命されました。警察行政への関わりです。当初は全く異なった世界かと思いましたが、人が犯罪に手を染めないように、また不幸にして、人倫にもとる行為をした場合は補導矯正をはかる、まさに「人づくり」が人生の上流ならば、それと表裏一体の「人直し」は、人生の下流に位置づけられるといえます。教育委員会と公安委員会が健全な青少年育成のための意見交換を定期的に行っている所以です。

さらに、最近縁あって社団法人全国幼児教育研究協会の役員に任命されました。長い「人づくり」人生の中で感じたことは「三つ子の魂百まで」と言われるように、幼児教育こそ人間形成の原点であり、人の一生を支配すると言っても過言ではないということでした。

大空高く放ったわが人生のブーメランは結局大きな獲物を撃ち落とすこともなく「幼児教育」という原点に戻ってきたということでしょうか。残された人生、出来る範囲の中で、再度投擲しようときに挑戦したいと考える昨今です。

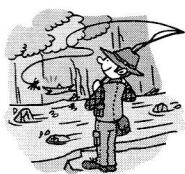
近況



元 国立大学

食品栄養科学部 助教授

板井 隆彦



この三月で退職してまる二年になります。今、ときに忙しく、ときに暇という退職前に期待したものに近い暮らしをしています。実は少し違うのです。「晴耕雨読」、私の場合は正しくは「晴漁雨読」を望んでいたのですが、釣り三昧はまったく果たせておらず、釣行はむしろ在職

時よりも少なくなっていました。

ここ二年、半期ずつですが、大学に非常勤で通い講義をしてきたのですが、忙しいのはこのためではありません。退職前から役員になっている自然環境関連のNPO法人と任意団体がいくつもあり、とくに静岡市の市街地の北に位置する麻機遊水地の湿地の自然の保全活動と静岡県の自然史に関する資料（わかりやすくいえば標本などの博物館資料）の収集・整理の事業活動にはずいぶん時間をとられています。前者は理事長を引き受けた関係で、現場に出る以外にも対外的な折衝にも駆り出されます。テレビや新聞の報道で私の名や顔をごらんになった方もいらつしやると思いますが、多くはここでの活動のもので、後者は私が在職時に収集した魚類等の水生生物標本を寄託したので、その整理のために週に数日はその事業所に通っています。とはいえ、現在はデータ整理がおもでも、標本整理は遅々として進まず、副理事長から苦い言葉ももらい続けています。

任意団体ですが長く会長をしている淡水魚の研究会では、いままも公共団体などから頼まれて河川や池沼の魚類調査に従事し、とくに絶滅の恐れのある魚の生息地の調査やその保全に関わり続けています。七年ほど前に静岡県の絶滅の恐れのある野生動物植物についてまとめたいわゆるレッドデータブックが静岡県庁から出されたのですが、この本の編集の責任者となった関係もあり、一昨年から始まったその見なおしのための調査事業では全体の責任者となったほか、魚類調査の責任者として研究会の会員に動いてもらっています。

さて、私は一九七三年に古屋義男さんと入れ替わりで静岡女子大学の家政学部一般教育の生物学担当の助手として採用されて以来、女子大学の閉学を見届け、静岡県立大学の教員となり、生活科学研究センターを皮切りにこの大学の中でもいくつかが異動して、最終的には食品栄養科学部で退職しました。県立大学の五学部の学舎は煉瓦壁で飾られた最大七階建ての壮大で見事な建造物群です。しかし、退職した今となって思い出されるのは、むしろ広い敷地内に点在した女子大学の低い建物の白く清楚な姿です。ウサギやタヌキが出没し、キジさえもときに飛来した自然の中の大学は、記憶の中にだけしか残っていないのが残念です。

しなやかに今を生きる

食物学科 (大学六回卒)

末永美雪



皆様お元気ですか？
卒業して三十数年が経ちましたが、何とか健康を維持できているのは、大学で教えて頂いたことが体に染みついていてお陰と感謝しています。

私達が卒業したのは「就職氷河期」と呼ばれた時代でした。多くの学生が就職浪人していました。私もその一人でしたが、若く世間知らずということもあり、将来の不安はありませんでした。

その後、縁あって短大教員として栄養士養成に関わり、12年目になります。昨年は栄養教諭免許取得のため、浜松大学で半年間「学生」もしていました。大学卒業後、調理師、管理栄養士、色彩

人生で歩く目的があれば、いつでも青春

英文学科 (大学九回卒)

南條 聖子

この言葉は、今年の年賀状で担当教授だった畑先生からいただいたものです。私は家業の製造業を手伝い、あつという間に45歳を過ぎました。でも、老後はこの仕事をやっていても大変だと思い、仕事を続けながら日本茶インストラクターの資格を取り、自宅の一角に小さなお茶の店を始めました。明るい素敵なお店を目指しましたが、緑茶離れや、まして静岡の中、お茶は周りに沢山あります。なかなか思うようにいかず、50歳の時に知人と起業し、お茶を絡めた商品や「静岡から発信」をテーマに会社を作りまし。試行錯誤の結果、お茶の石鹸「想茶石鹸」にたどり着きました。静岡産有機栽培粉末茶を練り込んで作った女性用の洗顔石鹸です。最初はパッケージが地味など、酷評をいただきましたが、他社のテレビCMの影響もあ

ました。大学卒業後、調理師、管理栄養士、色彩コーディネーター、産業カウンセラー、心理相談員と役者の私でも学ぶ事には限りがありました。大学内では本年度就職委員を担当させて頂き、あの頃と同じく不況の中、内定をもらえない学生への支援をしています。

食と健康の大切さが、大きな社会的関心事と言われているにも拘わらず、栄養士の求人枠がなかなか広がっていません。特に近年、食育推進が期待され、活躍の場が広がっているように思えますが、管理栄養士でなければという風潮からか、栄養士の地位さえ危ぶまれている現状です。こんな時こそ時代の要請に応えられる、知識と技能を兼ね備えた学生を育てなければなりません。そのためには私自身がさらに勉強しなくてはならないことになり、大学時代劣等生で先生方にご心配をおかけしたからと反省しつつ、苦手な学問の分野で日々奮闘しています。

り、だんだん売れてくるようになります。幸運なことに昨年はNHKテキスト「きれいの魔法」10月号で静岡県を代表する御当地石鹸として紹介されました。パッケージは白、静岡市の女流日本画家、奥田紫光先生に描いていただいた「お茶の花」が目印です。英文科なので、何かテキストのある言葉を入れたらいいと思、シエイクスジャパン the words a stage という言葉を入れました。人生はこれみな舞台であるという意味ですが、学生時代に残った言葉です。凛として美しく生きる女性に使ってほしい、そんな願いを込めました。もしお店で見つけていただけたら幸いです。
現在54歳になりました。ただ、夢はこの石鹸とともに海を渡ること。夢に向かって、まだまだ青春です。



演じ、教え、学ぶ

国文学科 (大学十五回卒)

阿部 よし

大学時代から演劇を続け、朗読指導やボイストレーニングもしています。子育て時期の中断はありましたが、こんなに続けてこられたことを家族に感謝するばかりです。

現在は、初めて挑戦する「ひとり芝居」の本番が来月に迫っています。作品は、夫を過労自殺によって亡くし、幼い子供を抱えて生きていくシングルマザーの物語です。稽古は本当に大変で自分との闘いですが、めったにないこのチャンスを少しでも楽しみたいと思います。

芝居は、別の人間として舞台の上立つわけですから、その人がどんな人生を送ってきたか想像し調べ、稽古の

みなさん お元気ですか

今年も行きます、剣祭

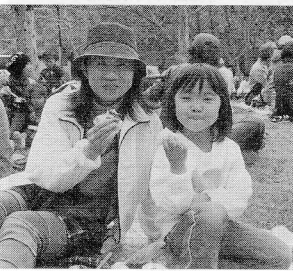
被服学科 (大学二十回卒)

黒川 滋子

私は女子大の最後の卒業生で、卒業してから21年が経ちました。

縁あって就いたフルタイムの仕事に家事、5才児の育児で毎日が目まぐるしく過ぎていきます。私にとっては子どもの成長は特に興味深くおもしろいので、一度きりの子育てではありませんが、楽しむと同時により勉強したいと思、育児セミナーに参加したり、幼稚園の父母会の役員にもさせて頂いています。

最近では小学校入学の準備がはかどらず、時間におられる生活が嫌で、一度仕事を辞めることも考えましたが、主人や義父母達の協力や、何よりも娘の応援に支えられて、どうにかマイペースでやらせてもらっています。



このような生活の中、昨年度はおおとり会の当番幹事として、剣祭のバザーの当日のお手伝いをさせて頂きました。今も変わらぬ県大のキャンパスで、学生生活を送りましたので、キャンパスを訪れるということも、学生だった頃のことを懐かしく思い出します。そのキャンパスで今を生きる学生さん達と同じようにお店に立ち、関わらせて頂いたことは、とても新鮮で素敵な経験でした。タイカレーにおでん、その他の豊富な品揃えに、協力された会員のみなさんには頭が下がる思いでした。今年の剣祭には娘を連れて訪れ、深まる秋を満喫したいと楽しみにしています。



中では、戯曲に書かれていない部分を即興でやってみたりもします。自分に経験のないことも経験した場合は想定して演じてみることでその感情を味わうのです。役者は様々な人生を体験できるといわれますが、やっていることは演技でも、その時の感情は本物でなければなりません。
演劇を続ける中で心理学に興味を持つようになり、昨年はNLP(神経言語プログラミング)トレーナーの認定を受けることができました。演劇の上でも、また日本語教師として外国の若者たちと関わる上でも、大変役に立っています。演じること、教えること、学ぶこと。この三つをこれからも元気に続けていきたいと思っています。

総会報告

平成二十二年度おとり会総会が六月十三日(日)静岡県立大学小講堂において開催されました。

懐かしい谷田の丘に恩師の先生や県大の先生に御出席頂き、総勢百五十余名が集まりました。総会・講演会の会場である小講堂、懇親会の会場であるはばたき棟の食堂共に超満員の大盛況でした。



第一部の総会では県大元学長の廣部雅昭先生が、突然のお願いにもかかわらず来賓代表のご挨拶を快くお引き受け下さり、近況など楽しくお話しして下さいました。

また議事においては同窓生からの質問・意見なども多くあり、おとり会に対する皆様の関心の高さが伺われました。

第二部は県立大学学長の木苗直秀先生に『食から健康長寿を考える』という演題で講演をしていただきました。県大の現状や、学生さん達の様子から始まり、静岡県の特産物、お茶やわさび・みかんの効用、がんやメタボ、アルツハイマーとの関連性等、幅広くわかりやすくお話しして下さいました。まるで二十歳の学生の頃に戻ったような気持ちになりました。

懇親会では、和やかな雰囲気の中、恒例の先生方からのお話がありました。専門のお仕事を続けていらつしやる様子、日々の生活をより良く生きる術、独自の視点から社会を評するお話、旅先で感じたこと、女子大の卒業

生としてこうあってほしいという願い等々、先生方は、いつまでたっても私たちの『師』でありました。同時に、同窓生の中からも情報発信される方々がいて、活躍の様子が伝わってきました。

恩師の先生方のご出席が年々少なくなっていることがちよつと寂しいです。大勢の先生方・同窓生の皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

当番幹事
食物学科(大学十五回卒) 朝倉真理子



お久しぶりで～す



剣祭・バザーから

平成二十二年度のバザーは台風のため中止となりました。当番幹事の方々を中心に、おんや甘酒、タイカレーやクッキー、ジャムなど二十種類以上の品々を用意し多くの皆様喜んでいただく予定でしたが、それができませんでした。直前の中止の為、かかった材料代の一部を支払いました。

二十三年度は二と七の回が当番です。該回の卒業生の方は是非協力してください。

材料代(支出) 一二、四〇〇円

今年の開催は十月三十日(日)

平成21年度 決算報告書

総収入 13,081,228円 総支出 778,870円 残高 12,302,358円(繰越金)

自平成21年4月1日
至平成22年3月31日

収入の部				支出の部					
費目	予算額円	決算額円	増減	備考	費目	予算額円	決算額円	増減	備考
受け取り利息	20,000	243,354	223,354	定期郵貯・通常郵貯・公社債	事業費	200,000	150,465	▲49,535	総会・剣祭・会報
基金入金	100,000	138,000	38,000	50件	会議費	80,000	65,557	▲14,443	役員会・理事会・当番幹事会・会報編集会議
剣祭収益金	60,000	112,051	52,051		印刷費	200,000	122,915	▲77,085	会報・総会案内状・会議用資料
雑収入	0	0	0		通信費	400,000	369,927	▲30,073	総会案内発送 80×4,200=336,000・ほか
					慶弔費	50,000	18,003	▲31,997	弔電・花輪
					事務雑費	20,000	16,003	▲3,997	
					予備費	50,000	36,000	▲14,000	剣祭看板・祝儀
小計	180,000	493,405	313,405		小計	1,000,000	778,870	▲221,130	
前年度より繰越	12,462,030	12,587,823	125,793		次年度へ繰越	11,642,030	12,302,358	660,328	定期定期郵貯・通常郵貯・公社債・現金
総計	12,642,030	13,081,228	439,198		総計	12,642,030	13,081,228	439,198	

上記の通りご報告致します。平成22年3月31日
会長/大石邦枝 会計/近藤和恵・瀧浪恵子
監査の結果、相違なく適正と認めます。平成22年4月17日
会計監査/長田直子・堀池美和

平成22年度 予算(案)

総収入 12,682,358円 総支出 12,682,358円 残高 0円

自平成22年4月1日
至平成23年3月31日

収入の部				支出の部					
費目	21年度予算	22年度予算	増減	備考	費目	21年度予算	22年度予算	増減	備考
受け取り利息	20,000	20,000	0		事業費	200,000	200,000	0	総会・剣祭・会報
基金入金	100,000	300,000	200,000		会議費	80,000	80,000	0	役員会・理事会・当番幹事会・会報編集会議
剣祭収益金	60,000	60,000	0		印刷費	200,000	200,000	0	会報・総会案内状・会議用資料
					通信費	400,000	400,000	0	会報・総会案内状の送付、会議の通知
					慶弔費	50,000	50,000	0	
					事務雑費	20,000	20,000	0	
					予備費	50,000	50,000	0	
小計	180,000	380,000	200,000		計	1,000,000	1,000,000	0	
前年度より繰越	12,462,030	12,302,358	▲159,672		郵貯・公社債等	11,642,030	11,682,358	40,328	
総計	12,642,030	12,682,358	40,328		総計	12,642,030	12,682,358	40,328	

*他費目への流用を認める

第19回 草薙の丘の集い

平成22年5月23日(日)『メルパルク KYOTO 和風ダイニング円山』において、草薙の丘の集いが開かれました。今回は、英文学科大学2回生、矢吹あさるさんを囲んで、『視覚障害の子供たちとともに』というタイトルで、お話の輪が広がりました。

編集後記

同窓生の皆様からの近況報告等のお便りを募っています。恩師の先生方のご活躍の様子もお知らせ下さい。

編集委員募集!!

編集委員 石田加苗・大石邦枝・岡田寿子
佐藤容子・高橋節子・森 恵美

